

△産業宣教/金土日時代のやぐら 48 信仰の先祖アブラハムが作ったやぐら(創 13:1-18)	△RT と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 48 イサクが建てたやぐら(創 12:1-3)	△核心 初代教会の使徒と重職者のやぐら(使 1:14)
<p>□序論_詩 108:2 [重職者産業人の朝]</p> <ol style="list-style-type: none"> 祈りで 7 やぐらを作りなさい。このやぐらを持って祈りを続ければ 答えの流れが見える。やぐらを続けて行くとある日、部分、部分、 絶対やぐらが作られる。 祈りの 7 旅程を続けて進んでいれば、みことばの流れと神様が備えて おかけた 7 ポイントの人が見える。これが絶対旅程だ。 祈りで 7 道しるべを続けて作る。この道しるべを続けて祈っていれば 伝道の流れが見える。これを度々していれば、三つの作品が出てくる。これが絶対道しるべだ。 <p>□本論_昼は多くの答えを確認する祝福の時間だ。</p> <p>(詩 23:1) 「主は私の羊飼い。私は乏しいことがありません」</p> <ol style="list-style-type: none"> 創 12:1-9 アブラハムがものすごい祝福とともに命令を受ける。事 実上、アブラハムは不信仰した。甥ロトを連れて行ったのだ。「子 もとを与える。そしてあなたの子孫が世界福音化する」という神様 のみことばが信じられなかったのだ。それゆえ、エジプトに行った。 創 13:1-18 [祭壇] アブラハムが悟ったのだ。甥ロトと別れた後に神様のみことばを 受ける。「東西南北を見渡しなさい。縦と横に歩き回りなさい。あ なたに永遠に与える」そのとき、アブラハムが祭壇を築き始めた。 そうなれば、終わる。 創 15:1-10 神様が「わたしがあなたの盾で、あなたへの報いは非常 に大きい」と言われた。 創 17:1-18 お客様がきて接待したが、そのお客様は主が遣わされ た御使いだった。そのとき受けた契約で産まれた息子がイサクだ。 創 22:1-23 神様がアブラハムをテストされようとモリヤの山に行 ってイサクを献げなさいと言われた。イサクがなぜ羊がないのかと 尋ねたとき、アブラハムは「それは主が備えられる」と言った。 息子を本当に献げようとしたとき、雄羊が備えられていたのだ。幼 いイサクは絶対に雄羊を忘れる事はできない。完全に刻印され てしまった。約束された祝福の中の一つが「あなたの子孫によって 国々が祝福される」世界福音化と言われたのだ。 <p>□結論_夜 [詩 23:6, 17:3]</p> <ol style="list-style-type: none"> アブラハムに次世代の祝福、 「敵の門」 世界福音化の大きな祝福が約束されている。 <p>この祝福を味わうにはキリストがくださったやぐら、旅程、道しるべ の中にいれば良い。</p>	<p>□序論_ダビデ - 絶対やぐら 祈りで一番モデルになった人物</p> <ol style="list-style-type: none"> 詩 5:3 朝。 詩 23:1-6 昼に、平日に。 詩 17:3 夜に。 詩 78:70-72 現場、学校で。 羊飼いであつたが王になるほ どの器を備え、多くの詩と文 章を書いて、賛美していた。 特にゴリヤテに勝つ技能も備 えた。 雅 4:1-5 1 千やぐらを建てた。 I 歴 29:10-14 世界やぐら、全 世界が来ることができる神殿 準備をした。 <p>□本論_イサク - 絶対旅程</p> <ol style="list-style-type: none"> 創 12:1-3 [親のこと] レムナントが親が与えたこ と、親が逃したことを知る必 要がある。ここで 1) 祝福を受けて、 2) 大きな失敗がきた。 創 22:1-24 [神様のこと] モリ ヤ山の事件 1) 死ということにあうようにな った。人間の死と滅亡は 当然なことだ。原罪のゆえ に。 <p>△散らされた弟子たち/7・7・7 のモデル 48 散らされた弟子たちのやぐら(使 11:19)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 千弟子やぐらをどのように建て るのか。牧師が直接することは大 変だ。やらせなさい。 1. 残りの者を残す者に。 2. 旅人を巡礼者に。 3. このとき、神様が準備された者、 力を持った者を付けて、暗闇を 破く征服者に。牧師はこれだけ 見つけなさい。 4. 散らされたと思ったが派遣され た者。 5. 事業する人だと思ったが見張り 人。 6. 全世界に通って商う人ではな く、偵察人。 7. もろもろの民が来ることがで きるよう、大路を造って旗を揚げ ている者だ。 七つの中一つは作らなければなら ない。必ず行けばいい。 	<p>□序論_伝道者の朝の時間 - 回復する時間</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康回復(Ⅲヨハ 1:2) - 灵的な力を先に得なければならない。その次には生活の 力がいのちの息で、からだの力も生じる。 契約回復(7・7・7) - 7 やぐら、旅程、道しるべを深く祈りなさい。ほかのこと は必要ない。私は切実にこれが私に必要だと祈っている。 スケジュールメッセージ回復 →これを回復するとき、絶対やぐらが作られて、絶対旅程が見て、絶対道しるべ を残すようになる。 <p>□本論_伝道者の昼の時間 - 神様の祝福確認(伝道者が行くやぐら、旅程、道しるべ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 正確なミッション確認(始まり) <ol style="list-style-type: none"> 受容、超越、[答え] 正確なミッションを見るには、すべてを受容して、超越し て答えを持っていなければならない。 時空超越、空前絶後、237-5000 祈っていれば時空超越になる。御座の祝福、 空前絶後のこと、235-5 千種族と合わなければならない。 使 13:1-4、16:6-10、19:1-8 すると完全に聖霊の導きを受けてターニングポ ポイントを見つけて神の国を回復する祝福を味わうようになる。 集中の力確認(実際の答え) - 集中しなければならない部分を見つけること <ol style="list-style-type: none"> WIOS 2) OURS 3) Always WITHS 作品に集中して確認するのだ。 患難-神様の方向 <ol style="list-style-type: none"> 使 3:1-12 初代教会を一番迫害する教会の門の前で律法学者、祭司長ができ ないことをペテロがナザレのイエス・キリストの御名でしたのだ。 使 6:1-7 迫害する人々が悔い改める働きが起った。 使 7:1-60 ステパノの死は始まり-ステパノのことから起った迫害によって 散らされた者が集まつたのがアンティオキア教会 使 8:4-8 だれも行けないサマリアに行って働きを起こした。 使 8:26-40 エチオピアの宦官に最初の、最後の、永遠の答えを与えた。 使 11:19、12:1-25 アンティオキア教会-ペテロが捕えられたその日の夜に重 職者が祈ったが神様はヘロデ王を呼んで行つてしまわれた。福音を防ぐ者を 呼んで行くこともできる。 使 13:1-4 初めて宣教師が派遣される。パウロを捕らえて殺そうとすると、パ ウロは宣教地に方向を定めた。 <p>□結論_伝道者の夜 300% 作品作ること</p> <ol style="list-style-type: none"> 制限的集中 選択的集中 ワンネス集中をすることだ。ほかのことをしてはいけない。

△区域メッセージ第 2 週 創造の光(創 1:1-3)	△聖日 1 部 わたしが示す地へ行きなさい(創 12:1-3)	△聖日 2 部/237 宣教献身礼拝 世界を生かす祭壇を築きなさい(創 13:14-18)
<p>伝道よりさらに重要なのは、私たちがだれなのかを知ることだ。 マタ 5:13-16 救われたので、あなたがたは世の光だ。 ヨハ 1:11-12 光として来られたキリストを受け入れたからだ。 イ ペテ 2:9 この光を告げ知らせるために呼ばれた。</p> <p>△祈りを分かたるならば、私たちの存在自体が重要なだ。ヨセフは伝道したのではない。ヨセフ自身が光なのでボティファルが見て分かったのだ。私たちが光の子どもだということを悪霊が正確に分かれる。暗闇の勢力は光を恐れる。何の光か。創造の光、神様が天地創造されたとき、その光だ。(創 1:1-3)</p> <p>□序論_それゆえ信じなければならない。</p> <p>1. 暗闇は逃げるようになっていて、光に勝つことはできない。どんな暗闇なのか。 1) 創 1:2 混沌、空しさ、暗闇がおおっていた。 2) イザ 60:2 間が地をおおっていて、暗闇が諸国の民をおおっている。 3) サタンの 12 の戦略が暗闇だ。それゆえ、信じて光を放ちさえすればよい。</p> <p>2. どんな光なのか 1) 創 1:3 創造の光 2) イザ 60:1 荣光の光だ。主の榮光があなたの上に輝く。 3) ヨハ 1:11 キリストがこの光を照らしに来られた。 4) マタ 5:14 それゆえ、私たちを見て世の光だと言われた。 5) I ペテ 2:9 それゆえ、この光を放ちなさい。そのためにあなたがたを呼んだ。</p> <p>3. 体験_アニア+パウロが光を放つき、体験するようになる。この光を持っていたアニアに神様が光を放つ人パウロを送られたのだ。これが伝道だ。</p> <p>□本論_すると、どのようにしなければならないのか</p> <p>1. 私の中に光のやぐら 1) 御座のやぐらを私の中に建てなさい。 2) 御座の旅程を進む光だ。 3) 御座の道しるべが私の中にあるのだ。</p> <p>2. 光の神殿が作られる。光の神殿とは何か 1) 237-5000 を生かす光になるのだ。この光は創造の光なので、ここで祈っているのに、あの世界へ照らされる。 2) 癒やしとなる。 3) 次世代 この光は次世代を生かす。</p> <p>3. 光の経済 1) 献金が光の経済だ。 2) 宣教 3) RT 経済は別にある。</p> <p>□結論_光のキャンプ このときから私たちのすべての人生は光のキャンプだ。ここに座っているのがキャンプ、結婚式がキャンプ、これから生きていくのがキャンプだ。</p> <p>1. 異邦人 この光のキャンプに出て行くとあの異邦人に光が臨む。 2. 病んでいる者にこの光が続けて照らされるのだ。 3. 会堂 この光はあのレムナントに照らすようになる。それゆえ、会堂に行つたのだ。 △この光は創造の光だ。この光を私たちが持ったので、この光を現わすのだ。</p>	<p>□序論_アブラハムに祝福を与えられた理由 1. 今もそのまま起こっている三つの事件 1) エデンの園事件-神様を信じるな。あなたがたが神のようになる。 2) ノアの洪水事件-悪霊につかれた勇士が出て来た。 3) バベルの塔事件-神様に挑戦して崩れた事件</p> <p>2. ネフィリム時代 1) ネフィリム-上から落ちた存在に力を受けた人 2) シャーマン、フリーメイソン、お祓い、迷信 3) ネフィリム病気</p> <p>3. わざわい時代 1) 土地、親戚、父の家を離れなさい-のろいの原産地、わざわいを受ける運命から出なさい。 2) わたしがあなたに示す地に行きなさい。国々があなたによって祝福を受ける-国々を生かしに行きなさい。 3) 御座の力、時空超越する力、空前絶後の力でともにいる。</p> <p>△いのちを治す薬をアブラハムに与えられたのだ。苦痛、苦難、災難が襲うのに口を閉じているのではない。</p> <p>聖書の答え 1. 神様を離れた原罪でネフィリムのわざわいが来たのだ。 2. 解決策-キリスト 1) サタンの権威を打ち碎いたまことの王 2) すべてののろいをなくすまことの祭司 3) 神様に会う道を開くまことの預言者 3. それゆえ伝道するのだ。</p> <p>□本論_五つの祝福</p> <p>1. 契約的祝福-わたしがあなたに示す地に行きなさい。 1) 創 3:15 女の子孫が蛇の頭を打つ。 2) 創 6:14 箱舟の中にあってくれば生かされる。 3) 出 3:18 血のいけにえを献げに行きなさい。 4) イザ 7:14 インマヌエル-その契約が成就する所に行きなさい。</p> <p>2. 根源的な祝福-あなたは祝福の根源になる。 1) 創 1:27 神のかたち回復 2) 創 1:28 征服、治めることの祝福回復 3) 創 2:7 いのちの息、その力を回復しなさい。 4) 創 2:1-18 エデンの園、家庭回復</p> <p>3. 代表的祝福-あなたによって アブラハム、イサク、ヤコブ、ヨセフに流れたその祝福を受けなさい。</p> <p>4. 記念碑的な祝福-あなたの子孫によって 1) 死の代わりに雄羊を体験したイサク 2) 100 年の祝福 3) 泉の根源(湧き水の出る井戸) 4) 戦わずに勝つフレホボテ</p> <p>5. 不可抗力的祝福-あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者はわたしが呪う。世界福音化すべきなので、あなたは祝福になる。祝福の根源になるべきだ。</p> <p>□結論_決断</p> <p>1. 契約と私が合わないのか-神様がくださった契約は信じなければならない 2. 完全に底辺に降りて行って答えを見つけなければならない。そこに答えがある。 3. 一番できないことに答えがある。</p>	<p>今この時間にも御座のやぐら、旅程、道しるべが成り立っている。皆さんは毎日力を受けなければならぬ。日曜日には癒やしとマルコの屋上の部屋に起こったことが起らなければならない。未来が見えて、多民族が見える礼拝だ。</p> <p>神様がアブラハムに一番最初に与えられたみことばが世界福音化だ。悟れないで苦しみにあうがいよいよ悟って世界を生かす祭壇を築き始めた□序論_アブラハムが悟って決断したこと</p> <p>1. 絶対不可能 1) みことば-わたしがあなたに示す地に行きなさい 2) 状況が難しい 3) 条件もそろっていない。それゆえ、できないと考えた。</p> <p>2. 土地、親戚、父の家を離れなさい。わざわいの原産地を離れなさい。 1) サタンの落とし穴-エデンの園、ノア洪水時代、バベルの塔時代 2) サタンの棒-ネフィリム時代きて作ったこと 3) サタンの罠にすべての人間が引っかかった。</p> <p>3. 物質があってこそ生きると考えた。 1) 生存のために 2) 未来-持っていることがあってこそ世界福音化できるだろう 3) 蝶を信じた一間違っていたと悟った。</p> <p>△献金することが一番うれしければ経済祝福を受ける。</p> <p>□本論_ロトがアブラハムを離れた後に祭壇を築き始めた</p> <p>1. 刻印、根、体質になったことを変え始める祭壇 1) 運命がひっくり返ること 2) 身分-神様がともにおられる身分を回復 3) 権威を回復する祭壇-あなたに立ちはだかる者はいないようにする。</p> <p>2. 答えをあらかじめ見た祭壇-約束を握って祭壇を築き始めた 1) 見渡すこと(14) -目をあげて東西南北を見渡してみなさい 2) 歩き回ること(17) -縦と横に歩き回りなさい 3) 子孫(15)-あなたとあなたの子孫に永遠に与える</p> <p>3. 御座の祭壇を築き始めた-世界福音化する伝道者の一日 1) 朝の時間 回復する力 (1) 五力回復 (2) やぐら、旅程、道しるべを味わう→絶対やぐら、旅程、道しるべが作られる。 (3) すべてを回復するメッセージが見える。</p> <p>2) 昼の時間 生かす力が必要-神様が隠されている 7P(7 ポイントの人々)との出会い-世界教区、大教区、1 千弟子やぐらが見える。</p> <p>3) 夜- 300% 作品を作ること(再挑戦、再生産、再創造)-編集、設計、デザインする習慣</p> <p>△これが世界宣教する奥義だ。余裕を持って一番底辺に降りて行って一番高いところに向かって走るのだ。300% 作りなさい。絶対不可能、わざわいと暗闇、現実の中で答えを見つけなさい。</p> <p>□結論_アブラハムのゆえに</p> <p>1. イサク-100 年の答えが与えられた。 2. イスラエル-12 部族が与えられて世界を見渡すようにされた。 3. ヨセフ-237-5000 種族がいる国に行って 1000 年の答えを味わうようになる。</p>